

1)事業の経緯

- 令和元年度『緑の基本計画』
緑の創出の観点から地区の拠点となる新規公園の設置
- 令和3年度『海老名市公園等整備・運営の指針』
新規公園等の整備を検討する箇所として事業化への取り組み
- 令和4年度 現地調査
現地の測量業務
- 令和5年度 交通量調査・アンケート調査
計画地周辺道路における交通量調査
地域住民等に対するアンケート調査
- 令和6年10月
基本構想・基本計画策定
- 令和6年12月
都市計画決定
- 令和7年3月
基本設計

2)公園計画概要

公園名称：(仮称) 大谷・杉久保地区公園
所在地：海老名市杉久保北三丁目ほか1地内
公園種別/計画面積：近隣公園/約2.3ha



3)周辺状況



西側から見る

東側から農地を見る



南側から農地を見る

北側境界の市道987号線

4)これまでの取り組み

(1) アンケート調査 (令和5年7月19日~7月31日)

新しい公園にどんな機能や施設があればよいか

1位	ゆったり過ごせる休憩スペースやベンチなど	78人
2位	四季を彩る植物や花壇	58人
3位	地場食品の直売所や、地元食材を使った飲食店など	49人
4位	自然や地形を生かした屋外遊具（プレーパークやそり滑り）	48人
5位	親水施設・水遊び場	44人
6位	天候に関係なく遊べる室内遊び場	33人
7位	様々な利用ができる大きな芝生広場	31人
8位	植物や生き物を観察する場所	29人

「ぷらっとパーク」をどのような目的で利用しますか

1位	飲食	64人
2位	買い物（お土産）	61人
3位	散歩	42人
4位	暇つぶし	29人
5位	日用品買い物	25人
6位	その他	5人

(2) オープンハウス (令和5年7月30日)

新しい公園でできると良いこと

1位	自然や地形を生かした屋外遊具（プレーパークやそり滑り）	12人
2位	ゆったり過ごせる休憩スペースやベンチ・四季を彩る植物や花壇	7人
3位	親水施設・水遊び場	6人
4位	障がいの有無に関係なくみんなで一緒に遊べる遊具	6人

5)基本構想・基本計画

1. **海老名の魅力の発信拠点**
地域資源を活かし、市内外の多くの人に海老名の魅力を体感・実感してもらう場とすることで、人々の笑顔と地域の活力を生み出します。
2. **賑わい・交流の拠点**
立地を生かし、海老名SAや周辺地域の事業者と連携を図ることで、多様な人々が交流する賑わいの場を創出します。
3. **くらしを豊かにする地域の拠点**
近隣公園として、地域住民における生活の質の向上に寄与する場としていくとともに、公園を核とした地域コミュニティの醸成・活性化につなげていきます。



6)杉久保小学校ワークショップ



	日時	主な内容
第1回	令和6年10月16日	新しい公園について知ろう
第2回	令和6年11月21日	新しい公園でやりたいこと、ほしいものを考えよう
第3回	令和7年1月15日	公園をみんなで大切にしていきたいための取組みを考えよう
第4回	令和7年2月10日	ワークショップの成果を発表しよう

ワークショップの成果を発表しました。また、子どもたちの意見を公園整備プランに反映しました。

公園のイメージ

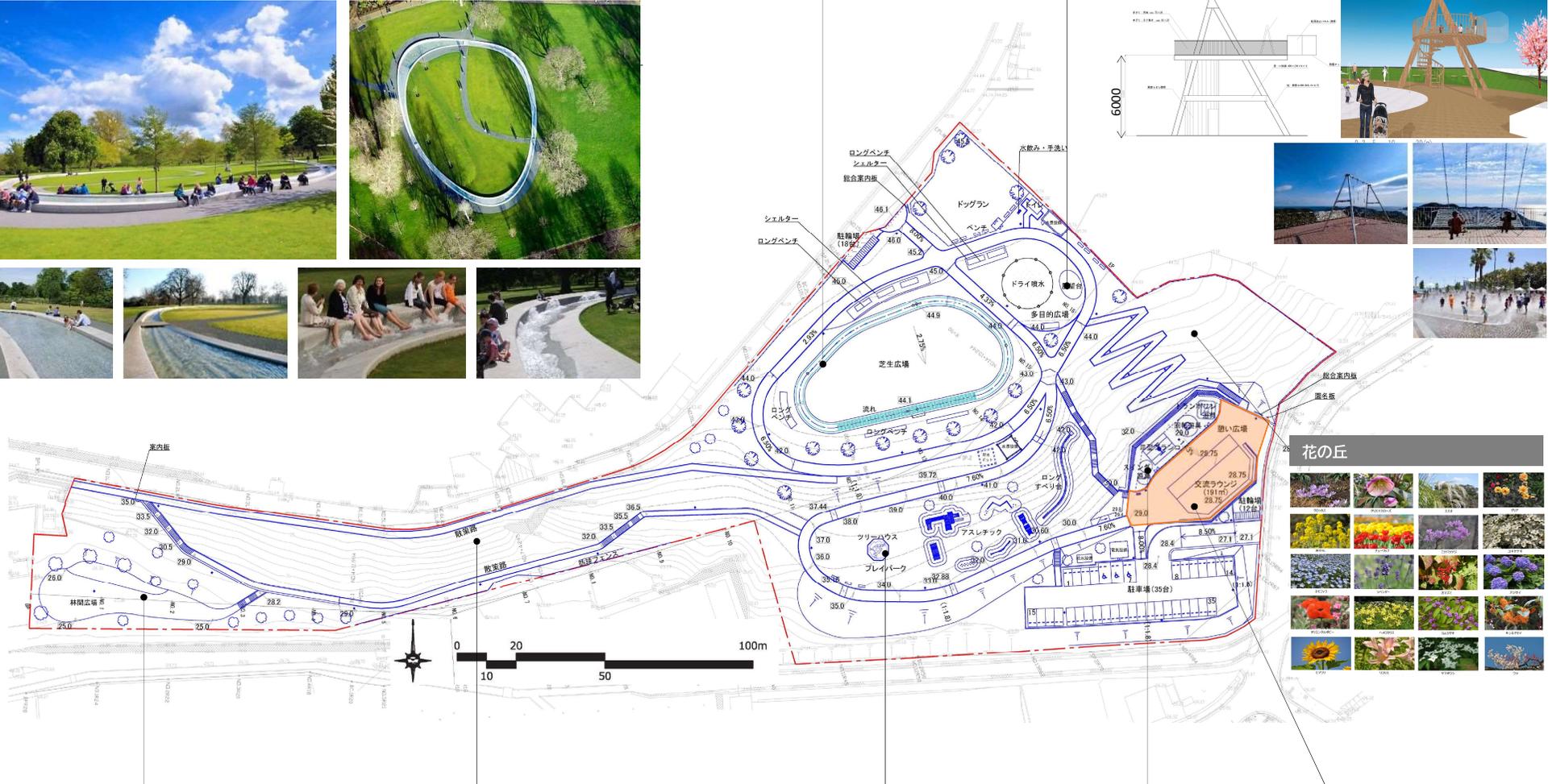
芝生広場と流れ

緩やかな斜面を活用した芝生広場とそれを囲むように配置された公園の顔となるシンボリックな環状の水の流れ。外周には広場を眺めながらくつろげるシェルター屋根のベンチを配置



展望台・天空ブランコ・ドライ噴水

大山・富士山を眺められる展望台。展望台の上、花の丘の斜面に向けたブランコを設置



林間広場・エコスタック(昆虫ホテル)

散策路・法面補強工事(ユニットネット工法)

冒険アスレチック・ツリーハウス

インクルーシブ遊具

管理棟・交流ラウンジ + 便益施設



官民連携による
民間活力の導入

※公園施設等は今後変更となる可能性があります
※画像はイメージです